# 施策評価(平成29年度)

## 1 基本項目

基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち
基本施策	3	生涯学習の推進
施策	5	生涯学習

## 基本方針

だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。

# 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文 化プログラム関連事業の実施	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会成功 に向けた取組みとスポーツの推進	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
スポーツ施設の整備・充実(スポーツセンターエレ ベーター改修工事)	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト	計画どおり完了	Α	Α	S	現状のまま継続
旧下田家住宅およびその生活用具の修復	次年度以降計画を 見直す	Α	Α	Α	レベルアップ
生涯学習センターゆとろぎ市民協働事業の推進	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
大学との連携による講座の充実	計画どおり完了	Α	Α	Α	レベルアップ
企業等との連携による生涯学習事業、芸術鑑賞事 業の実施	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
スポーツを通じた健康づくりの推進	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
社会教育関係団体の活動の充実に向けた支援	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
市民ボランティアの育成と支援	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続

#### 3 施策評価結果

施策5「生涯学習」では、11事業について評価を実施した。

進捗状況については、10事業が「計画どおり完了」、1事業が国庫補助などの関係で「次年度以降計画を見直す」としており、施策全体としては、滞りなく履行されている。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、概ねA(適切なもの)と評価しており、一部の事業においてS(より適切なもの)と評価している。

有効性(成果)をS(より適切なもの)と評価している事業は、「多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト」であり、上総層群に関する、調査・分析・研究のデータの活用が期待できるものである。

これらを踏まえた結果、施策5「生涯学習」については、取組内容は順調に推移している。

今後の方向性については、「旧下田家住宅およびその生活用具の修復」において、平成30年度に補助対象となったことに基づき、着実な推進を図っていく。

「大学との連携による講座の充実」では、駿河台大学、亜細亜大学と平成30年度に向けて連携の足がかりを築くことができたことから、これをもとに充実を図っていく。

その他の9事業については、引き続き、「現状のまま継続」していくこととする。

	<del></del>	- <b>F</b> +	+>   •							
平成29年度 【基本シート】 1.基本項目					部署	H- ii	王学羽 动丛	海岸羽井 いん	カールレスギ	
1.	- 坦日		事業名			<u>.                                    </u>	<u>生》</u> 実施期間	ᆂ <del>ᄼᆸᆒᅩ</del> ┃事業種別		ターゆとろぎ プロジェクト
00 東京	京2020: プログ=	オリンピッ	<u>・ディスコー</u> ック・パラリンピック 事業の実施	<sup>7</sup> 競技大会σ			継続	自治事務(市独自)		0
			事業inゆろろぎの	 実施	平成	24 年	継続	自治事務(市独自)	直営	
02	羽村市	文化祭	 の実施			44 年	 継続	自治事務(市独自)	施行者への舗助・助成	
03						年				
04	<u> </u>					年				
<del> </del>	 									
05	<u> </u>	T# #-	<b>-</b>	°=115.14°	. 5 淮 烘 🖶 🖶	年				
	車課		ナリンピック・バ				_ //	VET 234 TITE		
	目標		涯を通じて学び	人育つまち	施策	区分	5 生	E涯学習	重点事業№.	1
2.事第			上 ケナマドー	> 6 1 4 1	·- /** ·	<del></del>	L > # 1. 4s	上 ケナンショー	-1 18-1-7	1 - +
施策(			生涯を通じて、							
基本方	·杜 (의		、あらゆる場所				社会の要請	に対応した!	学習活動と、	その成果
生べい	゚゙゚゚	適切に	生かすことので	できる環境	きを整備し しょうしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か	ます。				
工庫	京20	20オリ	ンピック・パラリ	ンピック部	竞技大会名	・ 契機!	こ 日本の7	と化の魅力を	- 再発見する	ためのイベ
尹   . `.			を開催します。			_ / ////	-( -1,1,0)	(10 v) /E) )	-1170707 4	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
~	1 \~ D <del>F</del>	圧るこ	と開催しよう。							
内容										
台										
根拠沿	去令									
条例										
要綱領	手									
	<u> </u>									
3.実施	西計迪									
Pla	an【計	画	平成28年度	(現況)				か年計画	T	
	1.1					29年月		₽成30年度		31年度
			伝統文化交流事業 の実施	ミinゆとうさ	同左		同左		同左	
			00天/旭							
	業内		羽村市文化祭の実	<b>ミ施</b>	同左		同左		同左	
事	<b>工業量</b>	等								
4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)										
①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】										
職層·職種別 平成28年度(現況) 平成29年度 平成30年度 平成31年度										
	垌	い胃・順	生力				概算時間	人数 概算		
係長耶	哉			1人	90 H	1人			90 H 1 人	
主事•		敞		5 人	450 H		450 H		50 H 6 人	450 H
②事業				. 1					1 7 7	
		.=□ / <del>}</del>	(人・イ田)	東武の左	由(田)	<u> </u>	北の任由	1 立式20名	· 由	ぱっょ年中

	<b>于</b> 不只				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	8,300	8,950	8,950	8,950
	人件費(係長職)	448	448	448	448
	人件費(主任・主事職)	7,648	9,178	9,178	9,178
総	事業費(合計)	16,396	18,576	18,576	18,576
	国庫支出金				
	都支出金				
	受益者負担額	1,400	2,000	2,000	2,000
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	14,996	16,576	16,576	16,576
財	源内訳(合計)	16,396	18,576	18,576	18,576

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 イ 対象者 56,079 人における1人あたりのコストは、 ウ 成果(物) 来場者 の 出来高 18,000 人 における1

	331	14
	331	円
1 人	のコストは	1,032円

平成29年度 【事務事業評価	(事後)】	管理No 26
Do <b>(実行)</b> 5.実施結果		
	画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 🔲遅延	一中断
無	指示事項·改善内容	
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	复数の補助金等の活用に努める。 文化振興基会基金助成金(文化庁)、②まちづくり総合3 )多摩の魅力発信支援補助金(東京都)など、	交付金地域特選枠
②活動実績		
10月7日(土)~11月3日(祝)	風の盆と西多摩の郷土芸能(高水山獅子舞) 第48回羽村市文化祭(展示・ホール発表・オペラ椿姫・ らぎ伝統文化ウィーク(山鹿灯籠・中野七頭舞・御嶽神拳	
③投入実績  決算の内訳(単位:千円)	┃ 予算額(当初)┃補正・流用額┃ 予算額(最終) ┃ 湯	R. 算額
事業費	ア昇銀(ヨ初)   補正・加用額   ア昇銀(取称)   カ   8,950   489   9,439	字段     執1] 平       9,438     100.0%
	当初計画 実績	
係長職	人数   概算時間   <mark>人数   概算時間                                     </mark>	
主事•主任職	6人 450 H 6人 450 H	
④事業量(活動量) 実施計画	今年度実	績
〇伝統文化交流事業inゆとろぎの 〇羽村市文化祭の実施		
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適切	なもの A…適切なもの B…課題があり、今後	、改善が必要なもの
6.事業の評価 S…より適切 項目		、改善が必要なもの 課長評価
6.事業の評価       S…より適切         項目       妥 û         上位施策(基本目標・施策)         当 要       夕の社会情勢に見合う事業	を達成する為に必要な事業である	
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ω □ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 □ その社会情勢に見合う事業 性 □ その他 ( 効 (手 ※ 素務の進め方や手続きを簡	を達成する為に必要な事業である  である	
6.事業の評価 S…より適切: 項目  妥 ω □ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 □ その社会情勢に見合う事業 性 □ その他 ( 効 ← 手 注 注 で で で で で で で で で で で で で で で で で	を達成する為に必要な事業である  である	課長評価 A A
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ω □ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 □ その社会情勢に見合う事業 性 □ その他 ( 対の人件費・事業費で事 率 法 □ 業務の進め方や手続きを簡 せ ○ その他 ( 文化庁(日本芸術 対 果 □ 計画の事業量に達しなかった。 事業の目標が達成された	を達成する為に必要な事業である  である	課長評価 A A
6.事業の評価 S…より適切: 項目  妥 ○ □ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 □ その社会情勢に見合う事業 性 □ その他 ( 効 手 法 □ 業務の進め方や手続きを簡) 本 で □ 計画の事業量に達しなかった	を達成する為に必要な事業である  「である	課長評価 A A
6.事業の評価 S・・・より適切: 項目 妥 必 □ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 □ その他 ( 効 季 性 □ その他 ( 効 季 法 □ 業務の進め方や手続きを簡) 本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を達成する為に必要な事業である  「である	課長評価 A A A
6.事業の評価 S…より適切: 項目 妥 ( )	を達成する為に必要な事業である  「である	課長評価 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
6.事業の評価 S…より適切: 項目  妥 必 □ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 □ その他( 効 率 世 □ その他( 対 乗務の進め方や手続きを簡	を達成する為に必要な事業である  「である	課長評価 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
6.事業の評価 S…より適切: 項目 妥 必要性	を達成する為に必要な事業である  「である	課長評価 A A A A た A た A た た A た た た  た  た  た  た
6.事業の評価 S…より適切: 項目  妥 □ 上位施策(基本目標・施策) 当性 □ その他( 効 乗 をの他( 効 手法・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を達成する為に必要な事業である である	課長評価 A A A A A A A A A A た A た な の 高 で を は に ついても

平成	平成29年度 【基本シート】									
1.基	本項目				部署 生涯学習 部			スポーツ推進課		
		事業名		開始	r 年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
		トリンピック・パラリンピック ス組みとスポーツの推進	ウ競技大会成功		年				0	
(	01 スポー	ツ習慣定着促進事業		平成	28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	0	
	02 市民体 致	育祭へオリンピアン・バラ	リンピアンの招	不明	年	その他	自治事務(市独自)	直営	0	
	03				年					
	04				年					
	05				年					
具	]連課	東京オリンピック・ノ	パラリンピック≧	隼備室	<u>.</u>					
基	本目標	1 生涯を通じて学	び育つまち	施策	区分	5 生	涯学習	重点事業No.	3	
2.事	事業の概									
	<sup>策の</sup> る	れもが生涯を通じて、 幾会に、あらゆる場所 適切に生かすことの	斤において、個	国人の	要望と					
事業内容	<sub>業</sub>  京2020大会を契機に、スポーツへの関心を高め、スポーツに触れる機会の少ない市民が日常的にス    内 ポーツに親しむ取組みを促すことで、市民のスポーツ習慣の定着を図ります。									
	L法令 									
条例										
要網	尚等									

## 3.実施計画

Disp[計画]	亚世20年度(理识)		3か年計画					
Plan【計画】	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
	小·中学生「走り方教室」(初心 者編) 延344人	同左 延400人	同左 延400人	同左 延400人				
	小・中学生「走り方教室」(競技 カ向上編) 延240人	同左 延240人	同左 延240人	同左 延240人				
事業内容	小・中学生「フィジカルトレーニング(体幹)教室」(競技カ向上編) 延209人	同左 延240人	同左 延240人	同左 延240人				
事業量等	障害者スポーツのススメ! 延 60人	同左 延60人	同左 延60人	同左 延60人				
	歩くことからはじめよう 延55人	同左 延60人	同左 延60人	同左 延60人				
	市民体育祭へオリンピアン・パラリンピアンの招致 延4 132 人	同左 延4,100人	同左 延4,100人	同左 延4,100人				

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】) ①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層∙職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
哦/音·哦/生/リ	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	190 H	1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	2 人	120 H	2 人	100 H	2 人	100 H	2 人	100 H

## ②事業費

事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	2,000	2,000	2,000	2,000
	人件費(係長職)	946	498	498	498
	人件費(主任・主事職)	816	680	680	680
総	事業費(合計)	3,762	3,178	3,178	3,178
	国庫支出金				
	都支出金				
	受益者負担額				
	その他特定財源	2,000	2,000	2,000	2,000
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	1,762	1,178	1,178	
財	源内訳(合計)	3,762	3,178	3,178	3,178

③コスト計算

ア 市民	56,079	人にま	らける1人あ	たりのコ	コストは、	
イ 対象者	í 440	人にお	3ける1 <u>人あ</u>	たりのコ	コストは、	
ウ 成果(物	勿) 参加者	の 出	出来高 440	)人	における1	人
※ 対象者	音: 事業の参加者	_			_	

	7,223 円	
人	のコストは	7.223 F

57円

平成29年度 【事務事業評価	ō(事後)】	管理No 27
Do【実行】		
5.実施結果	画を見ずしウス/次年度以及社画を	3. 古土、 同海疝
لنصف المسا	画を見直し完了(次年度以降計画を身	見直す) □ 遅延 □ □ 中断
①指示事項・改善 有 有	指示事項·改善	<b>为容</b>
──		・- を享受していけるよう、「東京オリンピッ
		」に沿って、気運醸成に取り組むこと。
	害者スポーツなどすべての事業を計	画どおり実施することができた。
	、オリンピアン・パラリンピアンを招致し	、 〇×クイズを出題するなど、オリン
ピック・パラリンピックの気運を高	らあることができた。	
3投入実績		
□投入美順    決算の内訳(単位:千円)	┃ ┃予算額(当初)┃補正·流用額┃ 予算額	算額(最終)   決算額   執行率
事業費	2,000	2,000 907 45.4%
左眼光效吐眼/ L 供	当初計画 実績	1
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時間 人数 概算時間	
係長職	1人 100 H 1人 100 H	
主事・主任職	2人 100 H 2人 100 H	J
④事業量(活動量) 実施計画		今年度実績
〇走り方教室(初心者編) 延40	00人 〇走り方数	室(初心者編) 延319人
〇走り方教室(競技力向上編)		室(競技力向上編) 延139人
〇フィジカルトレーニング教室		レトレーニング教室 延185人
〇障害者スポーツのススメ 延6	0人	スポーツのススメ 延47人
〇歩くことからはじめよう 延60人 〇市民体育祭へオリンピアン等		いらはじめよう 延28人 育祭ヘオリンピアン等の招致 延5,029
人	人	はまべりりとアン寺の行政 建5,029
Check【評価】		
6.事業の評価 S…より適切	<u> なもの A…適切なもの B… </u>	課題があり、今後、改善が必要なもの
項目		課長評価
	)を達成する為に必要な事業である	
当 要 □ 今の社会情勢に見合う事業	笑である	) r b b
性 <sup>'C</sup> □ その他 (		)
効 へ	耳務が執行されている □ 民間	活力を活用している
率 法 │ □ 業務の進め方や手続きを簡	i略化・簡素化している	
性 🗀 🗆 その他 (		)
有 ←   □ 計画の事業量に達しなかった	た 🗸 計画の事業量に達した 🦳 計画	以上の事業量を達成した
成し、東北の日標がまませれま	た   計画の事業量に達した  計画   計画   計画	以上の事業量を達成した
効果 事業の目標が達成された	✓ 事業の効果が表れている	以上の事業量を達成した
対 現   事業の目標が達成された  性   施策の基本方針推進する	✓ 事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった	以上の事業量を達成した
対 果 □ 事業の目標が達成された 性 □ 施策の基本方針推進する 3.7.「施策の基本方針」に対する 3.7.	<ul><li>☑ 事業の効果が表れている</li><li>☑ 事業の評価</li></ul>	Α
対 果 □ 事業の目標が達成された 性 □ 施策の基本方針推進する 7.「施策の基本方針」に対する 小学生から高齢者、障害者と	<ul><li>☑ 事業の効果が表れている</li><li>☑ 事業の評価</li></ul>	提供することで、スポーツ習慣の定着
対 果 □ 事業の目標が達成された 性 □ 施策の基本方針推進する 7.「施策の基本方針」に対する 小学生から高齢者、障害者と	✓ 事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった ト事業の評価 様々な方を対象としたスポーツ教室を	提供することで、スポーツ習慣の定着
対 果 □ 事業の目標が達成された 性 □ 施策の基本方針推進する 7.「施策の基本方針」に対する 小学生から高齢者、障害者と	✓ 事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった ト事業の評価 様々な方を対象としたスポーツ教室を	提供することで、スポーツ習慣の定着
対 果 性 ○ 事業の目標が達成された	✓ 事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった ト事業の評価 様々な方を対象としたスポーツ教室を	提供することで、スポーツ習慣の定着
対 果 性 ○ 事業の目標が達成された     施策の基本方針推進する     7.「施策の基本方針」に対する     小学生から高齢者、障害者とを を図るとともに、東京2020大会に     Action (改善)     8.今後の方向性	☑ 事業の効果が表れている  5えで具体的な成果があった  本事業の評価  様々な方を対象としたスポーツ教室を  □向けた気運醸成につなげることができ	提供することで、スポーツ習慣の定着きた。
対果 性 ○ 施策の基本方針推進する 7.「施策の基本方針」に対する 小学生から高齢者、障害者と を図るとともに、東京2020大会に  Action【改善】 8.今後の方向性  レ 現状のまま継続	☑ 事業の効果が表れている  5えで具体的な成果があった  本事業の評価  様々な方を対象としたスポーツ教室を  □向けた気運醸成につなげることができ	提供することで、スポーツ習慣の定着
対 果	② 事業の効果が表れている  5えで具体的な成果があった  本事業の評価  様々な方を対象としたスポーツ教室を  □向けた気運醸成につなげることができ  レアップ  □縮小 □実施主体の	提供することで、スポーツ習慣の定着きた。  ○見直し
対 果	☑ 事業の効果が表れている  5えで具体的な成果があった  本事業の評価  様々な方を対象としたスポーツ教室を  □向けた気運醸成につなげることができ	提供することで、スポーツ習慣の定着きた。  ○見直し
対 果	② 事業の効果が表れている  5えで具体的な成果があった  本事業の評価  様々な方を対象としたスポーツ教室を  □向けた気運醸成につなげることができ  レアップ  □縮小 □実施主体の	提供することで、スポーツ習慣の定着きた。  ○見直し
対果    本業の目標が達成された   施策の基本方針推進する。   7.「施策の基本方針」に対する   小学生から高齢者、障害者とを   を図るとともに、東京2020大会に   Action (改善)   8.今後の方向性   レ現状のまま継続	② 事業の効果が表れている  おった  本事業の評価  様々な方を対象としたスポーツ教室を  一向けた気運醸成につなげることができ  レアップ  「編小 」実施主体の  で、募集方法を含めて広報の強化に多	提供することで、スポーツ習慣の定着きた。  ○見直し
対 果 事業の目標が達成された 施策の基本方針推進する 7.「施策の基本方針」に対する 小学生から高齢者、障害者とれ を図るとともに、東京2020大会に Action (改善) 8.今後の方向性 レ 現状のまま継続 レベル (改善点) 参加者が少ない事業もあるので 【今後の取組方針】 市民体育祭でオリンピアン・パ	② 事業の効果が表れている  おえで具体的な成果があった  本事業の評価  様々な方を対象としたスポーツ教室を 一向けた気運醸成につなげることがで  レアップ  □ 縮小  □ 実施主体の  で、募集方法を含めて広報の強化に多	提供することで、スポーツ習慣の定着きた。  ○見直し
対 果 事業の目標が達成された 施策の基本方針推進する 7.「施策の基本方針」に対する 小学生から高齢者、障害者とれ を図るとともに、東京2020大会に Action (改善) 8.今後の方向性 レ 現状のまま継続 レベル (改善点) 参加者が少ない事業もあるので 【今後の取組方針】 市民体育祭でオリンピアン・パ	② 事業の効果が表れている  おった  本事業の評価  様々な方を対象としたスポーツ教室を  一向けた気運醸成につなげることができ  レアップ  「編小 」実施主体の  で、募集方法を含めて広報の強化に多	提供することで、スポーツ習慣の定着きた。  ○見直し

	基本シート】			. <del> </del>	£L-1	T 224 333 4-0	- 13	14.54.=
1.基本項目 	事業名			<u>:部署_</u> :年度	生》 実施期間	ま学習 部 事業種別		ーツ推進課 プロジェクト
00 スポーツ施設の整				28 年		自治事務(市独自)		ブロンエン
01				年				
02				年				
03				年				
04				年				
05				年				
関連課 建築詞	果、土木課			•				
	涯を通じて学び	び育つまち	施策	区分	5	:涯学習	重点事業No.	4
2.事業の概要	<b>上海ナスドナ</b>	心 白 レナル	- 畑 由 エ	大中口	+_ 心 曲 ムナ	<b></b>	- レボズキス	トニ もこめ
施策の   る機会に	生涯を通じて、 、あらゆる場所 生かすことの <sup>-</sup>	斤において	、個人の	要望と				
事 業 行っていきます	·ツ施設を維持。また、市民ニ	・管理し、	老朽化に 確に捉え	:伴う整 ながら	備、高齢者 、スポーツ2	や障害者な 公園の整備な	どに配慮した などについて	-改修等を :計画的に
内実施していきま容			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
根拠法令								
条例								
要綱等								
3.実施計画						<del> </del>		
Plan【計画】	平成28年度	(現況)	ਜ਼ ਦ	29年月		3か年計画 7成30年度	1 <del>11   11</del>	201年由
	江戸街道公園整備	情についての	一 <u>干</u> 办 同左	(Z9 <u>干)</u>	同左	产队30年度	検討結果に	31年度 基づく整備の推
	調査・検討						進	
事業内容 事業量等			スポーツセンター改修工		ベー			
尹未里守 			<b>ア 以</b> 廖エ <sup>・</sup>	7				
4.投入指標(成果 <i>0</i>								
①年間業務時間(.	人件費の目安					当たりの年	間業務時間	
職層∙職	種別	平成28年	<u>度(現況)</u> 算時間	人数	成29年度 概算時間	平成30 <sup>年</sup> 人数 概算		成31年度 概算時間
係長職		人	H	1人	50 H	人	H 人	H
主事·主任職		人	Н	1人	100 H	人	H 人	Н
②事業費 事業費の内訳(単	(位·千田)	平成28年	度(現況)	亚	成29年度	平成30年	E度 平	成31年度
事業費		1 /2/20 1 /	<u> </u>		20,000		1 /2	
人件費(係長職	) - = n+h>				249			
人件費(主任·主 総事業費(合計)	E事職)				340 <b>20,589</b>			
国庫支出金								
都支出金 受益者負担額					9,060	)		
その他特定財派	 京							
一般会計繰入金								
起債	- 弗				11 500			
一般財源(人件 財源内訳(合計)	負合む)				11,529 <b>20,58</b> 9			
③コスト計算		<u> </u>			20,000	1		
ア市民	56,079 人					3	857円	
イ対象者		における1	人あたり	のコス	トは、		円	
ウ 成果(物)	の	出来高				のコスト	は	円
※ 対象者:								

亚芹00万亩 【市效市业三压	:/击後\▼		<b>佐</b> 田N 00
平成29年度 【事務事業評価 Do【実行】	(争俊)】		管理No 28
5.実施結果		_	
	画を見直し完了(次年度以降計	画を見直す) 🔲遅延	□□中断
①指示事項・改善	<b>上</b>	· 改善内容	
無有	旧小事员	<u> </u>	
②活動実績			
	一改修工事の実施(バリアフリー	-対応)	
スポーツ公園整備に向けた検討	<b>ां</b>		
③投入実績			
決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初) 補正·流用額		算額 執行率
事業費	20,000	20,000	<b>19,872</b> 99.4%
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画 実績   人数   概算時間   <mark>人数   概算</mark>	吐眼	
[  係長職	人数   概算時間   <mark>人数   概算</mark>   1 人   50 H   1 人	時間 50 H	
主事•主任職		00 H	
④事業量(活動量)			<b>E</b> 1
実施計画	. 0-1	今年度実績	₹
〇エレベーター改修工事 〇スポーツ公園整備に向けた検		ノベーター改修工事 ポーツ公園整備に向けた	<b>給</b> 討
O741. 7五图正确10月17亿款	11 O/V	, ラム西正備に同けた	I I XII
Check【評価】			
6.事業の評価 S…より適切	なもの A…適切なもの	B…課題があり、今後、	
項目			課長評価
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を達成する為に必要な事業である	"(宗亜)がまる	<b>A</b>
当 要	である 🔽 利用者・対象者のニース	((需安)かのる	
<u>                                     </u>	マケルギャケーナルファンフ	 民間活力を活用している	
効 ( 最少の人件費・事業費で事本 法 業務の進め方や手続きを簡		民间沿力を沿用している	<b>^</b>
l —	中		
\ <u>'</u>		計画以上の声巻号を歩げけ	
有 へ 計画の事業量に達しなかった 効 果 事業の目標が達成された	□ 事業の効果が表れている	計画以上の事業量を達成した	<b>^</b>
効 果			
7.「施策の基本方針」に対する本			
スポーツセンターのエレベータで	改修工事は多少遅延があったも		
既存施設の維持管理及び老朽化	とに伴う改修、障害者などに配慮	<b> したバリアフリー化につ</b>	いては引き続き検
討していく。			
Action【改善】			
8.今後の方向性			
▶️現状のまま継続    □レベル	√アップ <mark>□</mark> 縮小 □実施∃	主体の見直し 🔲休止・	廃止 🔲 完了
【改善点】			
<del>-</del>			
【今後の取組方針】	健康な仕げた送えてしばできて	トン フポーツ理接の数は	生た投計してい/
誰もか生涯を選して心身ともに	健康な生活を送ることができる。	ょう、ヘハーク環境の登録	用で快引している。

		9年度		【基本シート】							
1.:	基本	項目			作成				学習 部		郷土博物館
				事業名	開始	<u>;年</u> [	茰	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	多周	摩川中上	-流	域上総層群調査研究プロジェクト	平成	29	年	期間設定3年	自治事務(市独自)	その他	
	01	多摩川	中上	- 流域上総層群調査研究プロジェクト 	平成	29	年	期間設定3年	自治事務(市独自)	その他	
	02						年				
	03						年				
	04	<u> </u> 					年				
	05						年				
	関連	重課									
基	基本	目標	1	生涯を通じて学び育つまち	施策	区分	分	5 生	涯学習	重点事業No.	5
2.	事業	美の概!	要								
	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。										
業	多摩川中上流域の上総層群については、河川敷などのわずかな露出部分しかなく情報が少ないうえ事に、地域を超えた総合調査がなされておらず、詳細な状況が把握されていないことから、これまで各自業治体の博物館等に蓄積された情報を一元的に網羅するとともに、地域内の連携により、道路や公共施										
内容	設		模.	I場などの建築に際して行われ							

3.実施計画

根拠法令 条例

要綱等

Plan【計画】	平成28年度(現況)		3か年計画	
	十八八八十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	多摩川中上流域上総層群調査 研究プロジェクト企画立案	査研究プロジェクト ①先行する調査研究資料の 収集と分析 ②各自治体における関連情報の保有調査 ③②のデータ集約 ④地質・古生物・水質に関す	①初年度からの継続事業 ②各分野のまとめ(中間報 告等) ③教育支援資料の検討 ※事業を検討する中で事	同左 ①二年度からの継続事業 ②全体の成果の総合 ③成果物の作成・実行委員 会での共有化・公表 ※事業を検討する中で事業 費を算定

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源(ヒト・モノ・カネ)) (1)年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの

【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト実行委員会設置規約

<u> </u>								
職層∙職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
哦/官·哦/生/小	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	Н	1人	48 H	1人	48 H	1人	48 H
主事・主任職	人	I	1人	48 H	1人	48 H	1人	48 H

②事業費

	サ 木 貝				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費		4,064		_
	人件費(係長職)		239	239	239
	人件費(主任・主事職)		164	164	164
総	事業費(合計)		4,467	403	403
	国庫支出金				
	都支出金				
	受益者負担額				
	その他特定財源		4,064		
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)		403	403	403
財	源内訳(合計)		4,467	403	403

③コスト計算

ア	市民	56,079	人に	おける1	人あたりの=	コストは、
1	対象者		人に	おける1	人あたりの=	ストは、
ウ	成果(物)		の	出来高		

80	円
	円
のコストは	円

平成29年度 【事務事業評価	(事後)】	管理No 29
Do【実行】		
□ 計画どおり完了 □計	画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) □□遅延	□□中断
①指示事項・改善	<u>—</u>	
無有	指示事項·改善内容	
1 上総層群に関する調査・研究		
	)保有調査及び集約③報告書・地質図・学習支援資料等	キの作は(データル会
2 各目治体における関連情報 <i>0</i> む)	7休有调宜及00条剂②拟古音"地具凶"子白又恢复科学	FOTF成(ナーダルコ
③投入実績		
③投入美額    決算の内訳(単位:千円)	┃ 予算額(当初)┃補正·流用額┃ 予算額(最終) ┃   決	中算額 執行率
事業費	4,064 4,064	4,032 99.2%
		4,032
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画 実績	
	人数 概算時間 人数 概算時間	
係長職	1 人 48 H 1 人 40 H	
主事・主任職	1 人 48 H 1 人 42 H	
④事業量(活動量)		<b>é</b> 主
実施計画	今年度実行	棋
〇地理学-露頭調査	→ ○地理学-露頭調査	
〇古生物学一他館調査		
〇水文学一採水調查·水質分析	など ○水文学ー採水調査・水質分	}析など
Check【評価】		
<u>6.事業の評価 S…より適切</u>	<u>なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、</u>	
項目		課長評価
妥 必	を達成する為に必要な事業である	_
当 要 □ 今の社会情勢に見合う事業	である 🗸 利用者・対象者のニーズ(需要)がある	
一 性  二	<del></del>	
性 💆 🗸 その他 ( 多摩地域の各自	治体に不足している情報である	)
効 △ ☑ 最少の人件費・事業費で事	務が執行されている 🗸 民間活力を活用している	
本 手	略化・簡素化している	
性 ン 2 その他 ( 羽村市が有しな		<u> </u>
有 💮 🗌 計画の事業量に達しなかった	E □ 計画の事業量に達した ▽ 計画以上の事業量を達成し	た
効 果 □ 事業の目標が達成された	✓ 事業の効果が表れている	S
性		
<u> </u>		
7.「施策の基本方針」に対するオ		世界本 八七の
基礎データとして活用が期待され	度・層序・年代などを明らかにすることで、資料館等で将	米的な調査・分析の
		いため 細木・四穴士
ることで詳細データの活用が期待	付する脊椎動物化石は、専門研究者間で知られていなしまできる。	'/こはノ、i加宜 " 切允 9
	<sup>すぐさる。</sup> っている地下水を水道水源に活用している自治体も多く、	今回年4.1-20とも
る基礎データの活用が期待でき		、プロ初だに行り化
○ 全促 / 一プの沿州が捌付 ぐざ	<b>0</b> 0	
Action【改善】		
8.今後の方向性		<u> </u>
□ 現状のまま継続 □ レベル	ルアップ ┃  縮小     実施主体の見直し    休止・	•廃止 完字
 【改善点】	_	
TA (// = = /=   A )		
【今後の取組方針】		
	保有地質データ等の収集(継続)②自治体等保有地質ラ	
	戸のボーリングデータ・コア調査と分析(継続・新規)④	
	)⑥地下水等調査·分析(継続·新規)⑦各自治体保管(	
	周査(新規)⑨上総層群産出脊椎動物化石の調査・分析	「(継続・新規)⑪その
他附帯調査・研究		
【2 調査・研究成果の可視化】		
	等の作業準備③報告書等の構成・内容の検討	
【3 学習支援資料作成】		
①小中学校現場の社会科地理的	り分野の現状確認②教員による構成・内容の検討	

平成29年度 【基本シート】								
1.基本項目	作成部署	生涯学習		郷土博物館				
事業名	開始年度	実施期間   事業	<b>美種別</b>   運営手法	プロジェクト				
00 旧下田家住宅及びその生活用具の修復	昭和 29 年	今年度限り自治	台事務 業務委託(全部)					
01 旧下田家住宅一部修繕(屋根及び天井)	昭和 29 年	今年度限り 自治	台事務 業務委託(全部)					
02	年							
03	年							
04	年							
05	年							
関連課								
基本目標 1 生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5 生涯学	:習 重点事業No.	6				

<u>2.事業の概要</u>

だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆ 施策の る機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果 基本方針 を適切に生かすことのできる環境を整備します。

事 (1)茅葺屋根の修復(2)住宅各部の造作等の修復(3)生活用具(民具)のうち、損耗が見られるものの修 賞を行う。

内容

根拠法令 東京都文化財保存事業費補助金交付要綱 条例 文化財保護条例・東京都文化財保護条例 要綱等

#### 3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画						
	十八20十尺(坑儿)	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
事業内容 事業量等	旧下田家住宅修復部分検討	旧下田家住宅デイ・ヒロマの天井修復	間の修復					

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

	/		<u>- 女 7 で</u>	<u>UN MCIN</u>	<u> </u>	マーロネジ	7 P Y   P J Z	1
職層・職種別 平成28年度				平成30年度		平成31年度		
40.7音 40.7至 79	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	8 H	1人	12 H	人	Н	人	Н
主事•主任職	人	I	1人	12 H	人	Н	人	Н

② 事業費

	<b>于</b> 不良				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費		5,022	8,783	
	人件費(係長職)	40	60		
	人件費(主任・主事職)		41		
総	事業費(合計)	40	5,123	8,783	
	国庫支出金		2,511	4,391	
	都支出金		1,255	2,195	
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	40	1,357	2,197	
財	源内訳(合計)	40	5,123	8,783	

③コスト計算

ア 市民56,079人における1人あたりのコストは、イ 対象者30,531人における1人あたりのコストは、ウ 成果(物)の 出来高

91	円
168	円
のコストは	円

※ 対象者: 来館者

平成29年度 【事務事業評価(事後)】	管理No 30
Do(実行)	
計画どおり完了	中断
無有指示事項・改善内容	
年度当初、国内の自然災害による文化財被災により、補助対象文化財としての優先川補助対象外となった。しかし、茅葺屋根等の腐朽・損耗・部材落下等の状況を報告し、修説明したところ平成30年度の文化財国庫補助金の対象となった。	
	央算額 執行率 <b>執</b>
事業費 5,022 ▲ 5,022	0 –
年間業務時間(人件費の目安) 当初計画 実績 人数 概算時間 人数 概算時間	
係長職     1 人     12 H     人     24 H       主事・主任職     1 人     12 H     人     H	
④事業量(活動量)	λ±
実施計画今年度実〇自然災害の影響で平成29	
○旧下田家住宅の屋根葺き替え、天井竹簀子 取替え修理工事予定 も含め、平成30年度の補助対れた。	果、追加の修繕部分
Check【評価】	
6.事業の評価       S…より適切なもの       A…適切なもの       B…課題があり、今後	、改善が必要なもの 課長評価
妥 ロ	林及計画
当 要 性性 と その他 (	<b>A</b>
対	
手       業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している         性       その他(	A
有 ○ 計画の事業量に達しなかった 計画の事業量に達した ✓ 計画以上の事業量を達成し	
成	
性 一 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	
7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価 年度当初は、国内の自然災害の影響により文化庁の補助対象外となった。しかし、東	京都と調整し平成30
年度·平成31年度に分けて文化財関係国庫補助金事業計画書を提出し、平成30年度に象となった。	こ予定どおり補助対
Action【改善】	
	. 廃止   □ウァ
□□現状のまま継続 □□レベルアップ □□縮小 □□実施主体の見直し □□休止 【改善点】	・廃止 完了
当初、旧下田家住宅の屋根葺き替え工事及び天井竹簀子取替え修理工事が予定され 部造作(フロバ回り)の格子取替えも追加となり補助対象となった。	1ていたが、さらに木
【今後の取組方針】	
平成31年度も引き続き、旧下田家住宅の外部土壁の全面、ダイドコロ土間補修工事及え修理工事が補助対象となる予定である。	とひテイの畳等取替

平成29年度 【基本シート】					
1.基本項目	作成部署	生涯	学習 部生	涯学習セング	ターゆとろぎ
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 生涯学習センターゆとろぎ市民協働事業の推進	平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への舗助・助成	0
01 芸術観賞事業	平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への舗助・助成	
02 展示	平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への舗助・助成	
03 市民講座	年				
04	年				
05	年				
関連課					
基本目標 1 生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5 生	涯学習	重点事業No.	8
2.事業の概要					
たれもが生涯を通じて、心身ともに傾 施策の る機会に、あらゆる場所において、個 基本方針 ないによりなる	人の要望と				

を適切に生かすことのできる環境を整備します。

市民組織と協働して、市民ニーズや社会の要請に応えられる生涯学習センターゆとろぎの事業を展 開します。 業

内 容

根拠法令 条例

|羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会助成金交付要綱

#### 3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画 平成29年度 平成30年度 平成31年度					
			平成30年度	平成31年度			
事業内容 事業量等	市民協働事業の実施 芸術観賞事業 7事業 展示 5事業 市民講座 14事業 協働事業HPの更新等	同左 芸術観賞事業 8事業 展示 5事業 市民講座 18事業 協働事業HPの更新等	同左	同左			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】) (1)年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの

【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

<u> ①十间未物时间(八円貝の日文</u>	/		<u>- 女 プ゚゚</u>	<del>リハ奴C I 八</del>	<u>コルフ</u>	<u>以干间未</u> 犯	1 H J   P J A	1
職層∙職種別	職種別 平成28年度(現況		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
概/音 <sup>-</sup> 概作主/川	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	471 H	1人	471 H	1人	471 H	1人	471 H
主事•主任職	5 人	2,335 H	5 人	2,335 H	5 人	2,335 H	5 人	2,335 H

②事業費

	<b>于</b> 不貝				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	10,386	10,386	10,386	10,386
	人件費(係長職)	2,344	2,344	2,344	2,344
	人件費(主任・主事職)	39,684	39,684	39,684	39,684
総	事業費(合計)	52,414	52,414	52,414	52,414
	国庫支出金				
	都支出金				
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	52,414	52,414	52,414	52,414
財	源内訳(合計)	52,414	52,414	52,414	52,414

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 イ 対象者 280,000 人における1人あたりのコストは、 ウ 成果(物) 入館者 の 出来高 280,000 人 における1

	935	円
	187	円
1 人	のコストは	187円

平成29年度 【事務事業評価(事後)】	管理No	31
Do【実行】 G B M S B		
5.実施結果 レ計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 ①指示事項・改善	中断	
上		
無 有 レセプトニストの活動については、依頼数が増加する中で、対応人とから、平成29年度において、レセプショニスト養成講座を実施してまた。養成講座を実施した結果、新たに14名の会員が加わった。		
芸術鑑賞8事業、展示5事業、市民講座11事業を実施し、ゆとろぎイベントガイドWEEた、サポートグループ「レセプショニストの会」「保育さくらんぼ」「舞台操作」「植栽管理」にのサービス提供を行った。各種事業は子どもから高齢者、子育て世代など様々な対象をズや社会の要請に応えられるように実施した。市民講座は14事業を予定していたが、事業実施した。	こよる施設利 と考慮して、i	用者へ 市民ニー
③投入実績		+1 /
決算の内訳(単位:千円)   予算額(当初)   補正・流用額   予算額(最終)   ラ	·算額 10,325	<u>執行率</u> 99.4%
	10,020	33.470
中間未務時間(人件負の日女)   人数   概算時間   人数   概算時間		
係長職		
④事業量(活動量)	<del>/+</del>	
実施計画 今年度実 	頹	
○芸術鑑賞 7事業       ○芸術鑑賞 8事業         ○展示 5事業       ⇒ ○展示 5事業		
〇市民講座 14事業		
〇協働事業HPの更新等		
Check (評価)         6.事業の評価       S…より適切なもの       A…適切なもの       B…課題があり、今後         項目         妥 ②       」 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である		要なもの
当 度 性	)	4
効 ( ) 最少の人件費・事業費で事務が執行されている		4
性 ン ! マ その他 ( 市民ボランティアと協働で実施することで効率性を上げている。	)	_
有	,t	4
7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価		
市民ボランティアが社会で身に付けた知識や技能、民間の発想力などを活かし、市民展開が出来ており、循環型の生涯学習事業の取り組みとして質の高い事業が出来てい		た事業
^ ·· - ₹¬₺-★¬		
Action【改善】 8.今後の方向性 U 現状のまま継続  レベルアップ  編小  実施主体の見直し  休止	•廃止	完了
【改善点】 「ゆとろぎ協働事業運営市民の会」が発足して12年が経過し、ボランティア会員の高齢会員数も減少している。会員を増し、活動の活性化を図る必要がある。	令化、固定化	が進み、
【今後の取組方針】		
「ゆとろぎ主催事業の一部について、市民ボランティアの知識や技能を活かした事業をまた、レセプショニスト、保育士、舞台操作、植栽管理のサポートボランティア会員の補助ぎ利用時のサービス向上を図っていく。		

平成29年度	【基本シート】								
1.基本項目			作成	部署	刍	涯学習 部	生涯学習	ョセン・	ターゆとろぎ
	事業名			年度	実施期間			手法	プロジェクト
00 大学との連携に	よる講座の充実		平成	21 年	継続	自治事務(市	独自) 直	営	0
01				年				( <b></b>	
02				年					
03				年					
04				年					
05				年					
関連課			<b>.</b>			I.			
基本目標 1	生涯を通じて学	び育つまち	施策	区分	5	生涯学習	重点哥	專業№.	9
2.事業の概要									
施策の 基本方針 を適切	が生涯を通じて、 に、あらゆる場所 に生かすことの 協力し、大学の	斤において できる環境	、個人の を整備し	要望と ます。	社会の要	請に対応し	た学習活	動と、	
業 内 容									
根拠法令 条例									
要綱等									
<b>文神</b> 門 寸									
3.実施計画									
Plan【計画】	平成28年度	F(钼识)				3か年計画			
				29年月		平成30年			31年度
	大学と連携した講 講座3事業	<b>坐</b>	同左 講演・講座3	事業以上	同左	: [•講座3事業以	上 講演	_	3事業以上
事業内容									
事業量等									
7 714 12 13									
4.投入指標(成果	ー との達成、及び活	動するた						rn+ 88	•
①年間業務時間		<u>/</u> 平成28年			<u>る人致とし</u> 成29年度	人当たりの L 並成	30年度		<u>/</u> 成31年度
職層∙耶	<b></b>		<u>(文、5.00.)</u> [算時間	人数	概算時間		既算時間	人数	
係長職		人	H	人	1,70 51 . 31.	<del>月</del> 人	Н	人	Н
主事·主任職		2 人	100 H	2 人	100	H 2人	100 H	2 人	100 H
②事業費									
事業費の内訳(	単位:千円)	平成28年			成29年度		30年度	平	成31年度
事業費 人件費(係長)	啦/		360		3	60	360		360
人件費(定任			680		6	80	680		680
総事業費(合計)	<u>・・・</u> テッツ/		1,040		1,0		1,040		1,040
国庫支出金			.,				.,		.,
都支出金									
受益者負担客			180		1	80	180		180
その他特定則									
一般会計繰 <i>力</i> 起債	<b>、並</b>	<u> </u>							
一般財源(人	件費会す:)		860		Ω	60	860		860
財源内訳(合計)	II X II U /		1,040		1,0		1,040		1,040
③コスト計算		•	,				•		,
					F		40 [		

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 48,500 人における1人あたりのコストは、 ウ 成果(物) 講座参加者 の 出来高 300 人 における1 人

19 円 21 円 1 人 のコストは 3,467 円

平成29年度 【事務事業評価(事後)】	管理No 32					
Do【実行】 5.実施結果						
びまれる。 □ 計画どおり完了 □ 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) □ 遅延 ①指示事項・改善	中断					
無 指示事項·改善内容	<i>4</i> > <i>4</i> − 7					
*** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	<b>E進する。</b>					
②活動実績 〇杏林大学連携講座「やさしく学ぶ簿記の初歩」 〇杏林大学連携講座「好奇心から始まる国際理解」 〇杏林大学公開講座「日常生活にちょっと役立つポジティブ心理学」 〇杏林大学学生連携講座「『競技かるた』でつなぐ地域の輪 老若男女で学ぶ競技かる 〇杏林大学学生連携講座「日本が誇る世界遺産 ~意外と知らない日本の魅力再発見の首都大学連携講座「「世界自然遺産 小笠原を知る」						
③投入実績  決算の内訳(単位:千円) 予算額(当初)   補正・流用額   予算額(最終)   ※	快算額 執行率					
事業費 360 360	330 91.7%					
年間業務時間(人件費の目安) 当初計画 実績 人数 概算時間 人数 概算時間						
係長職     人     H     人     H       主事・主任職     2 人     100 H     2 人     100 H						
④事業量(活動量)						
実施計画 今年度実	績					
○講演·講座 3事業以上 ○講演·講座 6事業実施						
Check (評価)         6.事業の評価       S…より適切なもの       A…適切なもの       B…課題があり、今後項目	、改善が必要なもの					
妥 必       ② 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である         当 要       ○ 今の社会情勢に見合う事業である       ○ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある         性 性       ○ その他 (	<b>^</b>					
性 ン L ***						
一	, A					
対 (	A A					
対	本林大学との良好な					
対 (	本本大学との良好な向けて連携の足がか ・廃止 □ 完了					

平成29		【基	基本シート】		,, ,		.1 .=		<u> </u>	
1.基本	項目		事業名			:部署 :年度	生涯 実施期間	ŧ学省 部 生 ┃事業種別	涯字習セン ┃運営手法	ターゆとろぎ 【プロジェクト
00 企業領	生との 連	推による		芸術観賞事業の実			<u> </u>	自治事務(市独自)	直営	0
01		1751267		五門就員予末の大	11.60	年	<u> </u>	1717 735 CH 32 CT		
02						年				
03						年				
04						年				
05						年				
	理					+				
基本目		1 生	涯を通じて	 学び育つまち	施第	区分	5 生		重点事業No	. 10
2.事業			涯と地して-	10 H 283	//E/A	(E-7)	0 1	-/注丁 日	エハチネル	
2. 于未			生涯を诵じ	て、心身ともに	健康で	充実L.	た心豊かなん	生活を送るこ	とができる	よう、あらゆ
施策の 基本方針	」る#	幾会に	、あらゆる場	易所において、 のできる環境	個人の	要望と				
<del></del>		·団なと	ごと連携・協	力し、最先端	の科学、	技術0	つ紹介講座や	ら、質の高い	芸術鑑賞事	事業を実施し
業 まず	•									
内 容										
根拠法	令									
条例 要綱等										
女师可										
3.実施	計画							1. 5 = 1 =		
Plar	1【計画	画	平成28年	度(現況)	亚 너	29年月		か年計画 成30年度	1 平 元	t31年度
				での公演事業 3	司左 5公演		同左 3		同左 3公	
<b>.</b>	₩₼₽	<del></del>	公演							
	業内和 業量等									
· ·	<b>小王</b> ·	• •								
4 投入:	<u> </u>	成里(	 D達成 及7	 バ活動するため	カに投え	する省	が	/•カネ】)		
			人件費の目				る人数と1人		間業務時間	]
	職丿	醒∙職ः	種別	平成28年月			成29年度	平成30年		成31年度
係長職				人数  概:   1 人	算時間 100 H	人数 1 人	概算時間 100 H		時間 人数 00 H 人	概算時間 100 H
主事・主		į		5 分	500 H		500 H		00 H 入	500 H
②事業	費						D			
事業費	<u>の内</u> と	<u></u>	位:千円)	平成28年月	支(垷況)	平月	<u> </u>	平成30年	-	成31年度
人件	‡費(係	<b>系長職</b>			498		498			
			上事職)		8,498		8,498			
総事業国軍	复(百 支出				8,996		8,996			
都支	出金出文									
	<u>全者負</u>		<del>-</del>							
		<u>定財</u> 繰入:								
起債		中本ノくこ	nr.							
一般	段財源		-費含む)		8,996		8,996			
財源内					8,996		8,996			
プロストア 市民			56.079	人における1.	人あたり	のコス	الله الله الله الله الله الله الله الله	1	60円	
				人における1.					60円	
イ 対象	NTI I									

イ 対象者 ウ 成果(物) ※ 対象者:

	業評価(事後)】			管理No	33
Do(実行) 5.実施結果					
☑計画どおり完了 ②指示事項・改善	計画を見直し完了	了(次年度以降計	画を見直す)	屋延 □中	断
無有新た	な連携先の開拓に努		•改善内容		
	s,座135,000 m ru1⊂55	ω <i>γ</i> - <b>ω</b> ο			
②活動実績 非営利活動法人が保有る	よる専門性の喜い事	業(クラシックコ)	/サート 荻語公道	<b>主</b> 術趣賞講習	宝)を共催で
実施することで市民に良質					ス/と八座 こ
③投入実績	7 M 45 / 1/ 45			\_ \_ \rho	++ /= +-
決算の内訳(単位:千円) 事業費	予算額(当初	) 補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率 -
年間業務時間(人件費の)	目安) 当初計画 人数 概算時		時間		
係長職 主事·主任職	1人 10	0 H 1 人 1	100 H		
④事業量(活動量)	5人 50	0 H <mark> 5 人                                 </mark>	500 H		
実施計		→ -		F度実績 	
〇大・小ホールでの公演	5事業		・小ホールでの公	演 14公演	
Check【評価】					
6.事業の評価 S…より 「項目」	<del>り適切なもの A···</del>	適切なもの	B…課題があり、		<b>必要なもの</b> 果長評価
妥 🗘 🗸 上位施策(基本目標	・施策)を達成する為に必				<b>A</b>
当 要 □ 今の社会情勢に見る 性 □ その他 (	合う事業である □✓□ 利	用者・対象者のニース	ズ(需要)がある		A
効 ヘ 🗸 最少の人件費・事業	・ ・費で事務が執行されてい	3	民間活力を活用して	เงอ	_
本 法   ② 業務の進め方や手線	まきた節吹ル・節夫ルして	13			
		_	1 効素的に実体でき	·+-	A
性 〜 🗸 その他 ( 公益財団	団法人等の財源や事業実	施のノウハウを活用			A
性 ン	団法人等の財源や事業実 しなかった ☐ 計画の された ✓ 事業のな	施のノウハウを活用 事業量に達した			A A
性 ン	団法人等の財源や事業実 しなかった 計画の事 された ✓ 事業の対 進するうえで具体的な成果	施のノウハウを活用 事業量に達した			A A
性 ン	団法人等の財源や事業実 しなかった 計画の事業 された ✓ 事業の対 進するうえで具体的な成果 する本事業の評価 ・カル、美術鑑賞講演	施のノウハウを活用 事業量に達した	計画以上の事業量会場で提供するこ	を達成したとで施策の基本	
性 ン	団法人等の財源や事業実 しなかった 計画の事業れた ▽ 事業の対 進するうえで具体的な成果 する本事業の評価 ジカル、美術鑑賞講演 く学び、喜びや充実	施のノウハウを活用 事業量に達した	計画以上の事業量会場で提供するこ	を達成したとで施策の基本	
性 ン	団法人等の財源や事業実 しなかった 計画の事業れた ▽ 事業の対 進するうえで具体的な成果 する本事業の評価 ジカル、美術鑑賞講演 く学び、喜びや充実	施のノウハウを活用 事業量に達した	計画以上の事業量会場で提供するこ	を達成したとで施策の基本	
性 ン	団法人等の財源や事業実 がった 計画の事業が された ▽ 事業の対 進するうえで具体的な成果 する本事業の評価 ジカル、美術鑑賞講演 く学び、喜びや充実が っている。	施のノウハウを活用 事業量に達した  か果が表れている があった  は会など、身近なら 惑をもてる環境づ	計画以上の事業量会場で提供することがに沿った事業	を達成したとで施策の基本となっており、併	せて大幅
性 ン マの他 ( 公益財団 有 成 計画の事業量に達し 事業の目標が達成で 事業の目標が達成で 事業の基本方針 上対 クラシック、落語、ミューシ る、いつでも、どこでも楽しな経費の削減にもつながっな経費の削減にもつながった。 Action 【改善】 8.今後の方向性 レ 現状のまま継続 【改善点】	団法人等の財源や事業実 がかった 計画の事業れた ② 事業の対 進するうえで具体的な成果 する本事業の評価 ジカル、美術鑑賞講演 く学び、喜びや充実態 っている。	施のノウハウを活用  事業量に達した  か果が表れている があった  る会など、身近なる 惑をもてる環境づ	計画以上の事業量会場で提供するこ 会場で提供するこ でいた事業 主体の見直し	を達成したとで施策の基本となっており、併	一完了
性 ン	出法人等の財源や事業実 がった 計画の された ② 事業のが 進するうえで具体的な成果 する本事業の評価 ジカル、美術鑑賞講演 く学び、喜びや充実が っている。	施のノウハウを活用  事業量に達した  か果が表れている があった  会会など、身近なで 感をもてる環境づ	計画以上の事業量会場で提供することで広く市民で広く市民	を達成した とで施策の基本となっており、併	元完了
性 ン	出法人等の財源や事業実 がった 計画の された ② 事業のが 進するうえで具体的な成果 する本事業の評価 ジカル、美術鑑賞講演 く学び、喜びや充実が っている。	施のノウハウを活用  事業量に達した  か果が表れている があった  会会など、身近なで 感をもてる環境づ	計画以上の事業量会場で提供することで広く市民で広く市民	を達成した とで施策の基本となっており、併	元完了

助存の共催相手との信頼関係を深めるとともに、新たに、質の高い事業を実施する非営利団体等との共催事業を推進する。また現在、無料で実施しているコンサートを有料公演(500円程度)に出来ないか検討をする。

平成	29年度		【基本シート】							
1.基	本項目				部署	生涯学習 部		スポ	スポーツ推進課	
			事業名	開始	年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 2	スポーツを	通じ	た健康づくりの推進		年				0	
C	)1 健康づ	くり孝	数室	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(士部)	0	
C	)2 健康・2	<b>東・</b> スポーツフォーラム			年	継続	自治事務(市独自)	直営	0	
C	)3				年					
C	)4				年					
C	)5				年					
関	連課	健	康課							
	本目標	1	生涯を通じて学び育つまち	施策	区分	5 生	涯学習	重点事業No.	11	
2.事	業の概	要								
	<sup>策の</sup> る	幾会	が生涯を通じて、心身ともに傾 ≷に、あらゆる場所において、個 〗に生かすことのできる環境を₹	人の	要望と					
	事 市民の健康増進を図るとともに、スポーツによって市民相互のふれあいや親睦を深めるため、スポーツを通じた健康づくりのイベントや教室などを開催します。 内容									
	l法令									
条例										
要緺	等									

## 3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画						
	十八20十尺(况元)	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
事業内容 事業量等	健康づくり教室 10月 14人 11月 10人 12月 11人 健康・スポーツフォーラム 1回 3月18日 定員50人	同左 1回20人 同左 1回	同左 1回20人 同左 1回	同左 1回20人 同左 1回				

①年間業務時間(人件質の日安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】									
職層∙職種別	平成28年度(現況)		平川	成29年度	平月	戓30年度	平成31年度		
概/音· 概/生/川	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	
係長職	人	Н	人	Н	人	Н	人	Н	
主事・主任職	1人	20 H	1人	20 H	1人	20 H	1人	20 H	

②事業費

	<u> </u>	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	113	113	113	69
	人件費(係長職)				
	人件費(主任・主事職)	68	68	68	68
総	事業費(合計)	181	181	181	137
	国庫支出金				
	都支出金	25	25	25	18
	受益者負担額	10	10	10	10
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	146	146	146	109
財	源内訳(合計)	181	181	181	137

 ア市民
 56,079
 人における1人あたりのコストは、

 イ対象者
 人における1人あたりのコストは、

 ウ成果(物)
 の 出来高

2	円	
	円	
のコストは		円

平成29年度 【事務事業評価	(事後)】			管理No	34
Do(実行)					
5.実施結果 レ計画どおり完了 計 ①指示事項・改善	画を見直し完了(	次年度以降計	画を見直す)	遅延 □中	断
無有		指示事項	·改善内容		
②活動実績		0		== */	
初心者向け美BODY教室を6/9の参加があった。また、健康・スス				1/17に開催し	延べ160人
③投入実績		++	マ佐賀(目46)	\-\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	++ <
決算の内訳(単位:千円) 事業費	予算額(当初) 113	補正•流用額	予算額(最終) 113	決算額 63	<u>執行率</u> 55.8%
	当初計画	実績	110		00.070
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時間		時間		
係長職 (本東 本 任 聯		H A	Н		
主事·主任職 ④事業量(活動量)	1人 20	H  1 人	20 H		
実施計画			今年月	度実績	
〇健康づくり教室 1回 20人		→ ○健原	東づくり教室 2回	35人	
○健康・スポーツフォーラム 1回		〇健原	東·スポーツフォーラ	5ム 1回	
Check (評価)       6.事業の評価       S…より適切         項目       妥・評価       S…より適切         妥・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を達成する為に必要がである	者・対象者のニース  「 」  「 」  「 」  「 」  「 」  「 」  「 」  「	民間活力を活用しています。計画以上の事業量を	課 ) ) a る ) 達成した	A A
【改善点】 健康づくり教室を初心者にも参 たせた。 【今後の取組方針】	加しやすいように	三実施し、2回目		<u> </u>	☆完了
健康づくり教室は、参加者の反 健康・スポーツフォーラムは、優 図り実施していく。				う健康課と十分	分に調整を

ਹੁਦ <del>।</del> ੦	0左座	<b>r</b> +	‡+>. <b></b>								
平成2 1.基本		【古	基本シート】		作成	部署	生涯	王学習 部	生涯		
1.坐在	<u> </u>		事業名			<del>·미·</del> 许度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 社会	会教育問	<b>月</b> 係団体	の活動の充実に	向けた支援	17137-	年	>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1.21(12.3)	21.1		
01	社会教	育関係	団体の登録		不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	0	
02 団体・サークルガイドの発行			不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	0			
03 社会教育関係団体への補助金の交付			不明	年	継続 	自治事務(市独自)	直営	0			
04						年					
05						年					
関連	関連課 スポーツ推進課、地域振興課										
基本	目標	1 生	涯を通じて学び	び育つまち	施策	区分	5 生	涯学習	重点事業No.	12	
2.事業	きの概:	要			•				•		
だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。    社会教育関係団体の活動内容を紹介するための団体・サークルガイドを発行するとともに、活動に											
対内容	する財		Ŕ団体の活動♪ 爰を行います。	内容を紹介	<b>トするた</b> め	の団体	ቚ・サークル:	ガイドを発行	<b>するととも</b> に	こ、活動に	
根拠法	<del>去</del> 令										
条例	<del>/-</del>	77 44-		<b>オロル</b> &/			11 A 1/L <del>- A</del> 110		<u> </u>	kk	
要綱領	<u> </u>	署柯Γ	市社会教育関係	糸団体登3	球安綱、	<u> </u>	<b>社会教育</b> 関	係団体補助	金父付規則	寺	
3.実旅	面計画										
DI	an【計i	<b>ਜ਼</b> 【	平成28年度	(相紀)				か年計画			
	ALLE HILL					29年月	-	<del>Z</del> 成30年度		31年度	
			団体・サークルガ <i>~</i> 	1トの発行	同左		同左		同左		
] ]	業内	容	社会教育関係団体 の交付	はへの補助金	同左		同左		同左		
	業量						社会教	育関係団体の登	· ·禄		
4.投入											
•••	①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】										
	職	層∙職≉	 種別	平成28年	度(現況) [算時間	平) 人数	成29年度 概算時間	平成30年 人数 概算	F度 平 時間 人数	成31年度 概算時間	
係長耶	韱			1人	10 H	1人	10 H		20 H 1 人	<del>似如可间</del> 10 H	
	<u>"</u> 主任耶	 銭		1 入	30 H	1人	40 H		<del>00 H 1 人</del>	30 H	
<u>一一</u>	<u> </u>					• • • • •					

少十间未初时间(八门 食0 百支) 【单切预门户支) 6八数 [1八 ] [2 ] 0 ] 1 [1 ] 1 [1 ]								
職層•職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10 H	1人	10 H	1人	20 H	1人	10 H
主事・主任職	1人	30 H	1人	40 H	2 人	100 H	1人	30 H

②事業費

	ア 不 兄				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	2,463	2,463	2,463	2,463
	人件費(係長職)	50	50	100	50
	人件費(主任・主事職)	102	136	680	102
総	<u>事業費(合計)</u>	2,615	2,649	3,243	2,615
	国庫支出金				
	都支出金				
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	2,615	2,649	3,243	2,615
財	源内訳(合計)	2,615	2,649	3,243	2,615
<u></u>	## 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	2,010	2,010	0,2 10	۷,۰

③コスト計算

56,079 人における1人あたりのコストは、 人における1人あたりのコストは、 の 出来高 ア 市民 イ 対象者 ウ 成果(物)

47	円
	円
のコストは	

平成29年度 【事務事業評価	(事後)】	管理No 35						
Do【実行】								
	画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) □遅延	中断						
①指示事項・改善	指示事項·改善内容							
②活動実績								
	し、今年度は文化系の青少年団体3団体、成人団体5[ 所管はスポーツ推進理)に2008チ円の補助会を交付[							
321千円、スポーツ団体12団体(所管はスポーツ推進課)に2,008千円の補助金を交付し、財政的な支援を 行った。 また、社会教育関係団体の活動内容を広く市民等に周知するため、地域振興課と連携し、「団体・サークル								
	かするとともに市公式サイトにも掲載した。	秀し、「国体 ) ブル						
③投入実績								
決算の内訳(単位:円) 事業費	予算額(当初)   補正·流用額   予算額(最終)   3   2,463   2,463   2,463	決算額     執行率       2,335     94.8%						
		2,330 94.6%						
年間業務時間(人件費の目安)	一							
係長職 主事·主任職	1 人 10 H 1 人 5 H							
[土争·土任暇 ④事業量(活動量)	1 人 40 H 1 人 30 H							
実施計画	今年度実	[績						
	○団体・サークルガイド掲載							
〇社会教育関係団体の活動内容 めの団体・サークルガイドを発行		化協会加盟団体47団						
活動に対する財政支援を行う。	〇社会教育関係団体補助金	☆の交付:学習・文化						
	系8団体、スポーツ系12団体	の計2,329千円						
Check (評価) S…より適切	なもの A…適切なもの B…課題があり、今後	、改善が必要なもの						
項目		課長評価						
	を達成する為に必要な事業である							
当 要   □ 今の社会情勢に見合う事業	である  /  利用者・対象者のニーズ(需要)がある							
1年1	(1000 [1] 11711日 対象日の二 八(冊文/10000							
性 <u></u> 日 その他 (		A						
性	務が執行されている	) <b>A</b>						
性 <sup>性</sup>	務が執行されている	, A						
性 <sup>性</sup>	務が執行されている	A A						
性 <sup>性</sup> ○ その他 ( 効 (	務が執行されている □ 民間活力を活用している 略化・簡素化している	Α Α Α Δ						
性 <sup>性</sup>	務が執行されている	A A Lt. A						
性 <sup>性</sup>	務が執行されている	Α						
性 <sup>性</sup>	務が執行されている	活動をサポートして						
性 <sup>性</sup>	務が執行されている	活動をサポートして						
性 <sup>性</sup>	務が執行されている	活動をサポートして						
性 <sup>性</sup>	務が執行されている	活動をサポートして						
性 <sup>性</sup>	務が執行されている  ・	日活動をサポートしている お者講座を通じて、新						
性 <sup>性</sup>	務が執行されている  略化・簡素化している  略化・簡素化している  計画の事業量に達した 計画以上の事業量を達成  事業の効果が表れている  えで具体的な成果があった  事業の評価 活動支援を通じて、市民の生きがいづくりとしての学習 団体の発展・充実を図る観点から、市が主催する初心 の既存の団体の発展・充実をめざし、取り組んでいく。  アップ	A 記活動をサポートしている 計画を通じて、新いる 計画を通じて、新いる □ 完了						
性 ( ) 最少の人件費・事業費で事率 法 ( ) 最少の人件費・事業費で事業務の進め方や手続きを簡単性 ( ) 計画の事業量に達しなかった	務が執行されている  略化・簡素化している  略化・簡素化している  計画の事業量に達した 計画以上の事業量を達成  事業の効果が表れている  えで具体的な成果があった  事業の評価 活動支援を通じて、市民の生きがいづくりとしての学習 団体の発展・充実を図る観点から、市が主催する初心 の既存の団体の発展・充実をめざし、取り組んでいく。  アップ	A 記活動をサポートしている 計画を通じて、新いる 計画を通じて、新いる □ 完了						
性	務が執行されている  略化・簡素化している  略化・簡素化している  計画の事業量に達した 計画以上の事業量を達成  事業の効果が表れている  えで具体的な成果があった  事業の評価 活動支援を通じて、市民の生きがいづくりとしての学習 団体の発展・充実を図る観点から、市が主催する初心 の既存の団体の発展・充実をめざし、取り組んでいく。  アップ	A 記活動をサポートしている 諸座を通じて、新いき 一定子 ではならびに新規に						
性	務が執行されている  略化・簡素化している  計画の事業量に達した 計画以上の事業量を達成  事業の効果が表れている  まで具体的な成果があった  事業の評価  活動支援を通じて、市民の生きがいづくりとしての学習  は団体の発展・充実を図る観点から、市が主催する初心  の既存の団体の発展・充実をめざし、取り組んでいく。  アップ							

	29年度	[ į	基本シート】				., 5								
1.基本項目 事業名							部署 年度	宝施	<u>市氏</u> 期間	生活 部 事業種別	渾	営手法	地域振興課 プロジェクト		
00 市	民ボラン	ティアの	<u>デネコ</u> D育成と支援					23 年	- 1.0	· <del>然加加</del> ·統	自治事務(市独自)		直営	0	
01							1 //4	年							
02	<b></b>							—— <u>—</u> 年				<b></b> _			
<b> </b>	<del> </del>											<del> </del>			
03	<del> </del>							年				<u> </u>			
04	<del> </del>							年				<b></b> -			
05		1						年							
	連課	1 H	エナマドラ	- 24 7	で本へ士	- <u>+</u> T	+/ /-/-	EZ /\	_	н	· 개구 산 33	<b>4</b> J	上 击 <del>火</del> N.。	10	
-	目標		涯を通じて	. 字(	アヨンよ	5	他束	区分	5	<u>±</u>	涯学習	里,	点事業No.	13	
_	だ		生涯を通し	こて、	心身と	もに促	建康で	充実し	た心	豊かな	生活を送る	عے	ができる	よう、あら	
施策 基本力	- 全1 Itカ・									会の要	請に対応し	た営	学習活動	と、その成	
1-1-2			]に生かす。							Z トン	各種市民力	<u>*=</u> `	ティマク	) 兼式建成	
	どを実			ハノ	J 1 1 1	/白 刬	い、低	11型ログ1〜	-1J ⁄L ʻʻ	9 to 7 to	<b>台性</b> 中氏/1	、ノン	//1/0	/食以舑庄	
内															
容地	+ ^	1													
根拠	<b>太</b> 市														
要綱	等														
3宝は	拖計画														
	an【計ī	स्त <b>१</b>	平成284	午庄	(租記)						か年計画				
FI	an [ Fi i	<b>4</b>				同士		29年月	支	平成30年度			平成31年度 同左(1回)		
			の実施(1回)		イア講座等 同左(1回)			ı. <del></del>							
<u> </u>	事業内:	灾				東京2 の検討				東京2020大会に向けた事業の実施 1回			同左 1回		
	事業量:														
			の達成、及 人件費の[								ノ·カネ】) 当たりの年	門坐		1	
		<u> </u>			平成28年	F度(羽	見況)	平月	<b></b>	- 度	平成30年	F度	平	成31年度	
龙巨		百 收	「主力」			既算日	<u>特間</u> 6 H	人数	概算	時間	人数 概算			概算時間	
係長 主事・	<u>戙</u> 主任耶	<b></b>			<u>1 人</u> 1 人		24 H	1人		16 H 24 H	1 人	16 24		16 H 24 H	
②事	業費		VII			/=								•	
事業:	費の内 ∶業費	訳(自	单位:千円)	-	平成28年	丰度(均	<u>見況)</u> 25	半月	<b></b>	<u>-                                    </u>	平成30年		<u>半</u> 50	<u>成31年度</u> 50	
人	件費(						80			80		8	30	80	
	<u>件費(:</u> 業費(合		主事職)		82 1 <b>87</b>				82 1 <b>87</b>				82 82 212 213		
	* 頁( E  庫支出						107			107				212	
都	支出玄	Ž													
	益者負 の他特		酒												
_	般会計														
起	債	5/1/	+ 弗				107			107		^-	10	010	
財源「	<u> </u>		‡費含む)	_			187 <b>187</b>			187 <b>187</b>		21 <b>21</b>		212 <b>212</b>	
3□2	くト計算			<u></u>											
ア市			56,079		おける							3			
	イ 対象者  人における ウ 成果(物) の 出来高					たり	ツコス	レリン、		のコスト		円	H		
- 1-1	·>!~ (  XJ /	<u> </u>			/\ ID	,					27-1711	.∽ ⊩			

イ 対象者 L ウ 成果(物) ※ 対象者:

平成29年度 【事務事業評価	(事後)】				管理No	36		
Do【実行】					<u> </u>			
5.実施結果 レ計画どおり完了 計画 ①指示事項・改善	画を見直し完了(	次年度以降計	画を見る	直す)	星延 口中	断		
」が指示争項・改善 無 有 指示事項・改善内容								
②活動実績						+v4/ 1 \		
「外国人おもてなし語学ボラン	アイア育成講座」	の実施(開催)	1H29年	7月5日・12日	1・19日、参加	首致28人)		
③投入実績  決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正·流用額	又笘	額(最終)	決算額	執行率		
事業費	25	<b>神止・ 川川</b> 付	了开	25	<u> </u>	ŦX111 <del>71</del>		
	当初計画	実績						
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時間							
係長職 主事·主任職	1 人 16 1 人 24		16 H					
(本事·王正職 (本事業量(活動量)	1人] 24	H 1人	24 H					
実施計画				今年度	<b>E実績</b>			
O「外国人おもてなし語学ボラン	·ティア育成講	⇒ O「外	国人お	もてなし語学	ボランティア	育成講座」		
座」の実施		の実施	<b></b>					
Check (評価)								
Action【改善】 8.今後の方向性  U 現状のまま継続  (改善点】  従来の講座実施の他に、東京を対象とした、「外国人おもてなり。	<u></u> 2020オリンピック	<u>ー</u> フ・パラリンピック				■完了 系団体など		
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え外国人観光客が安心して滞在できる環境を整えるため、引続き講座を開催する。								